

ISNA-20 への参加報告

理学研究科 理学専攻 物質・生命化学領域 機能有機化学研究室
博士前期課程 1年 佐野嘉治

出張先 : トロント, カナダ

出張期間 : 2024年8月10日から8月18日

【渡航目的】

20th International Symposium on Novel Aromatic Compounds に参加し、芳香族化合物についての講演を聴き、最先端の研究について学ぶ。ポスター発表での他参加者とのディスカッションを通して、交流を深めつつ、研究の展望についての知見を得る。

【概要】

ISNA は、新規芳香族化合物の合成や特性、応用に関する最新の研究成果を発表し、議論するための国際フォーラムです。1970年に「非ベンゼノイド芳香族化合物に関する国際シンポジウム」として始まり、現在では芳香族性の基本原理やその応用を探ることを目的としています。今回のシンポジウムでは、6日間の開催期間中に64件の講演と238件のポスター発表が行われました。

【所感】

自身の専門分野の最先端の研究に触れることで、研究へのモチベーションが向上し、自身の研究の展望を考える良い機会となりました。普段接することのない分野の講演は理解が難しかったものの、研究の多様性を知る貴重な経験となりました。ポスター発表では、多くの教授や学生と議論することができ、異なる視点からの質問を受ける



会場内看板前での写真

中で分子の奥深さを実感し、今後の研究展開に関する有益な助言もいただくことができました。また、他研究室の方々と食事を共にする機会があり、交流を深めながら楽しい時間を過ごすことができました。しかしながら、全体を通して英会話に不慣れで、円滑なコミュニケーションが取れなかったことを痛感したため、今後はその点を改善していきたいと考えています。

貴重な機会をくださった山口茂弘教授、トランスフォーマティブ生命化学融合研究大学院プログラム、そして出張を支援してくださった GTR 学生支援室の皆様へ深く感謝いたします。